

会議録概要	
会議の名称	令和3年度第2回長久手市平成こども塾運営委員会
開催日時	令和3年10月16日（土）午前9時から午前10時30分まで
開催場所	長久手市平成こども塾 丸太の家
出席者氏名 （敬称略）	委員長 谷澤明 事務局 委員 伊藤稔明（職務代理者） 建設部長 水野泰 委員 筒井千稲 みどりの推進課長 山本一裕 委員 青山裕子 同課主幹 青山均 委員 勝谷晋也 同課専門員 福本將 委員 山口香代 委員 村瀬摩里子
欠席者氏名 （敬称略）	委員 山崎隆志
傍聴者人数	0人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	<p>【議 事】</p> <p>(1) 報告事項 令和3年度平成こども塾事業中間報告について（資料1-1）</p> <p>(2) 報告事項 令和3年度月別まとめ 4～9月プログラム参加者・来館者数について（資料1-2）</p> <p>(3) 報告事項 プレーパークアンケートについて（資料2）</p> <p>(4) プログラム見学 こどもファーム「脱穀」見学</p> <p>(5) その他</p>
問合せ先	長久手市建設部 みどりの推進課 長久手市平成こども塾 TEL 0561-64-0045
備考	

【議事要点】

- (1) 報告事項
令和3年度平成こども塾事業中間報告について（資料1-1）
- (2) 報告事項
令和3年度月別まとめ 4～9月プログラム参加者・来館者数について（資料1-2）
- (3) 報告事項
プレーパークアンケートについて（資料2）
- (4) プログラム見学
こどもファーム「脱穀」見学
- (5) その他
なし

【議事概要】

事務局（進行）：

議事に先立ち本委員会が、長久手市平成こども塾運営委員会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、過半数以上の出席があり、成立していることを報告。

1 あいさつ

～ 建設部長あいさつ ～

～ 委員長あいさつ ～

2 議題

委員長

「議題（1）報告事項 令和3年度平成こども塾事業中間報告」（資料1）について、事務局から説明願います。

事務局

「議題（1）報告事項 令和3年度平成こども塾事業中間報告」（資料1）について説明します。

学校連携事業について、1学期は1回も実施できませんでした。例年8月に行う教職員研修も行われませんでした。専門プログラム「暮らしの道具作りと料理教室」と「ネイチャーゲーム」は、緊急事態宣言中の第1回目を延期して実施しています。現時点では、予備日を設けているので予定どおり実施する予定です。「里山冒険クラブ」は、今年度は、予算の都合上実施回数が4回になってしまいましたが、12月と2月に午前・午後通しで「(5寸くぎからのペーパー) ナイフ作り」と「火起こし」プログラムを計画しています。「サポート隊プログラム」も緊急事態宣言の影響でそれぞれ子どもの参加回数が減っていますが、食と農班の「こどもファーム」等は、サポート隊メンバーが田植え等の農作業を行い、農作業の遅れはありません。「こども塾プログラム」は、予定どおり実施しています。

通常時の2年前（令和元年）と比較すると、ここまでのプログラム実施回数が今年度37回なので（令和元年9月末実績106回）69回減、合計参加人数は、今年度合計920人なので（令和元年9月末実績3,385人）は2,465人減となっています。

次に4ページ「5 かまどの利用状況」ですが、4月に1件4人の利用があったのみですが、通常時である2年前の4～9月実績としては、10件、133人の利用がありました。

4ページの「6 サポート隊育成事業」については、2人が新規登録がありました。

5ページの「7 周辺整備」について、(3)「プレーパーク講演会」を11月20日に実施予定です。

議題に関連する報告事項として以下2点報告します。

(1) 「先進地見学」について。

緊急事態宣言により、コロナ禍対策措置が継続中であることから、見学者の移動時や見学先での感染リスクを考慮し、当分の間見合わせることにしました。

(2) プレーパーク希望者からの相談に関連する情報について。

前回の委員会以後、大きな進展はありませんが、自主保育をしているグループ（たねっこ）から、「こども塾のかまど施設をベースに、隣接する「木望の森」周辺を親子で自然に触れる体験がしたい」旨の打診が、みどりの推進課にあり課内で里山利用のルール作りに向けた打合せをしています。今後の進捗状況は、改めて報告します。

委員長

只今、事務局から説明のありました内容について、御質問や御意見などがありましたら、御発言をお願いします。

委員長

ないようですので、「議題(1)令和3年度平成こども塾事業中間報告」は、「異議なし」ということでよろしいですね。

では次に「議題 (2) 報告事項 「令和3年度月別まとめ4～9月プログラム参加者・来館者数について」事務局から報告していただきます。

事務局

6ページの 議題(2) 資料1-2の説明をいたします。

前回ご説明しましたが、このデータは日々の日報をまとめたものです。

9月の緊急事態宣言時は、その影響でプログラム参加者が0人になっています。

委員長

只今、事務局から説明のありました内容について、ご質問やご意見などがありましたら、ご発言をお願いいたします。

ないようですので「異議なし」ということでよろしいですね。

次に、議題 (3) 報告事項「プレーパークアンケート」について事務局から報告していただきます。

事務局

議題(3) 報告事項「プレーパークアンケート」について説明します。

7ページ 資料2「アンケート回答まとめ」を御覧ください。

11か所のプレーパークへアンケートを送付したところ、9か所から回答がありました。令和元年度の状況について、20数項目にわたる回答を集約したところ、本市の現状といくつかの特徴的な相違がありました（※「⇒」は本市の現状）。

① 「1立地」（プレーパークを実施している土地）9か所「すべて公有地」
⇒私有地（購入や借用が必要）

その内「公園」が7か所（プレーパーク） ”資料には（7）と表記”

② 「1立地」 実施場所 「公園」（駐車場や水道は設置されている77%）

⇒山林（トイレ、水道なし。接続する道路が狭小）

これらの項目に対応するためには、候補地取得（借用）の費用見積、地権者の意向など事前の様々な準備が必要となります。

- ③ 「3 来場の主な交通手段」 「徒歩」、「自転車」（子どもが一人で来場可能な距離）7か所。「親と自家用車」（駐車場あり）7か所。

⇒用地候補の東山川周辺へは、徒歩、自転車での来場には距離的に難しい。駐車場がない。N-バスの停留所（北熊橋）から20分

- ④ 8 ページ「9-1 運営予算について」

予算が240万円前後のプレーパークが3か所ありますが、これは東浦町など行政からNPOに対して委託する予算が出ており、毎土日はプレーリーダーが常駐して実施しています。結果として、年間12,000人（そうりPP 東浦町）、6,200人（おだいPP 知多市）、2,300人（PP らんらん（中の池公園）東海市）の参加者があるとのこと。

- ⑤ 同8 ページ 「13 各プレーパークの特徴や大切にしていること」は、参加者をお客さん扱いしない（4か所）、自分の責任で自由に遊ぶ（ケガと弁当は自分持ち）（3か所）との回答がありました。

まずは、本年度末を目処に「長久手版プレーパーク事業の今後の方向性について再考できるようにしたいと思います。

委員長

只今、事務局から説明のありましたが、このアンケートからどのような示唆が得られたのでしょうか。

事務局

先に説明しました①から④までの4つのことについて理解が深まりました。

1つ目は、「立地」についての問題点。当市では、現在の候補地は私有地で購入や借用が必要だということ。2つ目は、「実施場所」は公園が多いのですが、当市では候補地が山林で水道やトイレ等がないことと、接続する道路が狭小であるということ。3つ目には、「交通手段」で、7か所のプレーパークが徒歩や自転車での来場と、親と車での来場が多いとの回答でしたが、当市の候補場所は、子どもが徒歩・自転車などを使って一人で来場するには距離的に難しいことと、駐車場がないこと。公共交通機関としては、N-バスのバス停から徒歩20分程度あること。4つ目は、「運営予算」について、年間予算240万円前後あるところは、毎土日にプレーリーダーを複数常駐させて結果として参加者が多くなっていますが、運営者が自力でやれる範囲で行っているところは、開催回数も少なくなり結果として参加者総数は少なくなっているということです。

委員

「そうりプレーパーク」の代表者とは、昔から付き合いがあり「そうりプレーパーク」立上げの頃から研修等に関わらせてもらっています。

条件的には厳しいことがあるかと思いますが、本来当初のプレーパークはそのような不便な状況で行われていたと思うので、悪条件だからだめということではなく、みなで意見を出し合って進めていただければと思います。

行政からの支援としては、最低限の予算は必要でしょうし「ケガと弁当は自分持ち」といえども最低限の安全対策、知識等はレクチャーする必要があると思います。

委員長

運営形態も多様性があり、お金の使い方も考え方がいろいろとあるようなので今後の検討課題としていただきたいと思います。

他にございませんか。

委員

「9-1 運営予算」についてお聞きします。年間240万円で運営しているところもあれば、5万円以下で運営しているところがありますが、これらはどのような違いがありますか。

事務局

そうりプレーパーク、おだいプレーパーク、プレーパークらんらん（中の池公園）の3つが240万円前後の予算を持っているところですが、これらは、それぞれ東浦町・知多市・東海市がNPO業者への委託という形で運営しているところで、人件費が9割近くかかっていると聞いています。また、5万円以下のところは、尾張旭市が大学跡地の存在を市民に知ってもらおうと市が主体となって年1、2回実施していると聞いています。

この他、年間15～30万円で運営しているプレーパークは、参加者からの会費や、行政・助成団体からの資金援助を主体として運営されているようです。これらは、運営者がプレーリーダーを兼務しているところもあり、それらの人件費は無償とのことでした。

委員長

予算については、いくつかのパターンがあるようですが、長久手市としてはどのような考え方で進めていく予定でしょうか。

事務局

当市としては、自発的にやりたい意思のある市民に運営をお願いして、市は黒子の立場となり、予算が必要なところには手当をして活動を支えるようにしたいと考えています。今まで他の成功事例を見てまして、市民が主体となり行政がそれをバックアップする形が多いと思いますので、そのような形にしていきたいと考えています。

委員長

他にありませんか。

委員

プレーパークを知らない人も大勢いると思うので、きっかけとして知るための出張プレーパークを行ってはどうかと思います。市内各所に広い公園があるので、それらを会場にしてプレーパークのことを知ってもらい、興味ある方々を見つけて次の世代を育てていくことが大切だと思います。

委員

学校側としては、実施の協力は難しい点がありますが、チラシ配布等によるお知らせの協力はできると思います。

委員長

他にありませんか。

委員

私は、「そうりプレーパーク」の立ち上げの頃から新青樹さんに協力してきました。当時を思い出すと、プレーパークの立ち上げ時は、行政がチラシ等の配布を行って協力者を募っていました。

委員長

他にありませんか。

ないようですので、議題 (3) 報告事項「プレーパークアンケート」について「異議なし」ということでよろしいですね。

次に「議題 (4) プログラム見学」について事務局から説明をお願いします。

事務局

本日の見学内容は、10月2日(土)にこどもファーム参加の子ども達とその保護者及びサポート隊で行った「稲刈りとハザかけ」をした稲わらを、「足踏み脱穀機」や「(手回し)とおみ」を使って脱穀・選別するものです。もち米の品種は、餅米の新品種「こはるもち」です。

では、見学をお願いします。そのあと、この場所に戻り、次回委員会の日程について相談したいのでよろしくをお願いします。時間は20分程度を考えておりますが、事務局より改めて声を掛けさせていただきます。

～ 見学 ～

→ 席に戻る

委員長

ご質問やご意見などがありましたら、ご発言をお願いします。

委員

今は見ることもなくなった昔の機械を使った脱穀を見ることができて興味深かったです。

委員長

他にありませんか。ないようですので、これで議事は全て終了します。

事務局

以上をもちまして「令和3年度第2回長久手市平成こども塾運営委員会」を終了します。ありがとうございました。

補足事項

「3 その他」では以下2点について案内と相談を行った。

(1) 第3回プレーパーク講演会の案内

(2) 令和3年度第3回平成こども塾運営委員会の開催日について

→ 相談の結果、欠席の山崎委員の予定も後日に伺い、下記の日程とした。

令和4年2月10日（木）午後3時から